

まつど未来づくり会議 会議録

分科会名：地域連携分科会

開催日時：平成 21 年 11 月 7 日（金）17 時 00 分～17 時 35 分

開催場所：松戸商工会館 5 階大会議室

出席委員：小野瀬雄次、小山田美和子、小寺邦明、金子雄二、喜久村徳雄、
桑田雅子、後藤淳子、島尻武雄、松川正、丸山孝子、藪田京子、
鈴田正則、橋本守（敬称略）

会議内容

参加者から各分科会へのコメントを受け、その感想をグループで共有しながら対話を行った。

- ・総体として好意的に受けとめられた。
- ・具体性に欠ける、カタカナが多いという指摘があった。
- ・地域の連携は、他の分科会にも共通するテーマ。基盤である「ふるさと松戸」も、他の分科会で取り上げられている。
- ・分科会の意図が本当に伝わったのか、不安。
- ・協働の認識の差もある。理解を助ける例の工夫も必要か。

資料：発表を聞いてのコメント（地域連携分科会へ）

以上

発表を聞いてのコメント（地域連携分科会へ）

- ・ 具体的な話が少なく、抽象的であったので、あまりピンとこなかった
- ・ サポートセンター案賛成です
- ・ 市民活動サポートセンターの機能を補充すること
- ・ 市民サポートセンターの窓口を充実する
- ・ 市役所は市民の役に立つところ。とてもいいと思った。当たり前だと思いますが
- ・ 多種多様の委員が参加され、各種意見が出され議論されたようだ
- ・ これからの時代は外国の方が松戸で暮らすと思うので、ぜひ差別のない社会にしたい
- ・ 日本語を母国語としない外国人の人権はどのようにするか？
- ・ 人権問題は大変難しい問題であるので、外国人の人、差別を受けそうな人、障害者等を入れ、話し合いが必要ではないか
- ・ 一人一人の人権が尊重される街づくりが必要と思います
- ・ 企業向けの人権ガイドライン作成に企業も加えたい
- ・ 人権については、小さいときから学習が大切。学校での人権教育の更なる充実が必要
- ・ 一人一人の人権が尊重され、参画しやすい地域連携社会をつくるため、深く慎重に検討されているのを感じた
- ・ 人権をあまり意識したことがなかったが、参考にできる考え方だと思う
- ・ 人権教育の第一歩は、自己尊重、自己肯定感だと思います
- ・ 人権に対する市民の役割は共感できる
- ・ 行政は差別に対する学習の場、気づいて行動する
- ・ 自ら意志を伝えられない、人とつながれない人々の声を拾う努力はどうしたらいいか
- ・ 行政とは対立する関係ではなく、対等に協力し、松戸をよりよくするための議論が必要
- ・ サテライトオフィス構想に共感する
- ・ サテライトオフィスは良いが、運営方法は更なる検討が必要では
- ・ サテライトオフィスは日本語では何か。運営は行政か、市民か？
- ・ 地域拠点の機能の向上とは何か。サテライトオフィス構想か？
- ・ サテライト・オフィス構想について、市民と行政を接着するコーディネーターの常駐は大賛成です！学校、とくに大学の活用を検討してはいかがでしょうか？
- ・ サテライトオフィスの運営は、市民全体でやれるといい。中間支援組織の役割と考えていきたい
- ・ サテライトオフィスの窓口にはボランティア団体、NPOが出来る
- ・ 中間支援組織の役割が強調されている
- ・ 中間支援組織を市民、行政、企業ともに育てたい
- ・ 中間支援組織の育成、機能の向上に期待します

- ・ 現在どのような中間支援組織があるか？①市民活動サポートセンター②松戸まちづくりテント小屋③・・・
- ・ 中間支援組織の数が必要
- ・ 中間支援組織の数はとてもいいと思うが、何のことかわからない人が多いのではないか
- ・ 市民活動の充実、発展に中間支援組織のサポート、コーディネート等が不可欠。是非育成の強化を実現してほしい
- ・ 中間支援組織の数（現状？）指標案
- ・ 中間支援組織または市民の提案を受け入れ、具体化する部署、窓口を是非作って欲しい。それがなければ連携は進まないのではないのでしょうか
- ・ 「他人事にせず、松戸市民・・・」確かに、松戸に愛情を持っていることが不可欠
- ・ 「松戸自慢」って良い響きの言葉です
- ・ 「ふるさと・松戸自慢」のキーワード、賛成です
- ・ ふるさとまつどに共感します
- ・ だれにとってもふるさとまつどになるように、というのは大賛成です
- ・ ふるさと松戸自慢
- ・ 子や孫の時代に、「ふるさと・松戸」を誇りを持って語れるまちにしたい
- ・ 転入者が多い松戸市において、松戸をふるさとと考えられる良い町になると良いと思う
- ・ 「ふるさと松戸自慢」といっても、具体的にどのようなものがあるのか、説明してほしいかった
- ・ 「全ての人」という表現が素晴らしい！
- ・ 協働といった言葉の受け取り方は個々人様々であるといったことを、わかりやすい言葉で宣言文として表現されています
- ・ 宣言文の中の、安全安心な豊かで活力のある郷土愛に満ちた、誇れる「ふるさとまつど」を実現する、は格調があり、非常によい。
- ・ 素晴らしい宣言文です。地域、NPO、ボランティアと区分して、わかりやすい。課題はその連携
- ・ 全体的にすばらしい。具体化する方法が大事
- ・ 一人一人の人権を大切にしている視点がとらえられていて良い
- ・ 市民の役割と行政の役割がバランスよく述べられていて素晴らしいです
- ・ 人権と協働に対する熱い思いが伝わってきました
- ・ 教育分科会と共通するキーワードが多くできました。「郷土愛・ふるさと・ボランティア活動の連携」互いに重要であると考えます
- ・ 都市経営分科会に所属しているが、視点に共通の部分が多いので、共感できる点が多かったです
- ・ 行政と市民の距離感を感じた（まとめるのに苦労したと受け取った）
- ・ 行政との対等な関係とは何か、具体的な取組みは何か

- ・ 協働に対する考え方の違いとは？
- ・ 「協働」に関する認識の違いって具体的になんだったのでしょうか？
- ・ 宣言文の2の、「豊かなまち」というのがわかりにくい。物的、人的どちらなのか？
- ・ 活性化された姿（イメージ）を共有されましたか？
- ・ 協働そのものの言葉が市民に浸透していないのでは？市民、行政両方の役割として啓発活動が必要ではないか？
- ・ 例えば、具体的に誰がどう進めるか？
- ・ ふるさと松戸づくりのために、転入者に対して、「まつど入村式」みたいなことをして、松戸を良く知ってもらえるのはどうか？
- ・ 人権といっても、何のどのような人権なのか？いじめなのか、差別なのか？話の具体的な範囲が確定しない
- ・ 宣言文は立派だが、それを具体化するのが問題だ。それを聞きたい
- ・ 宣言文の思いはわかるが、やはり長すぎて焦点がつかみづらい
- ・ どの提案もすばらしく、良さを活かし10年後の未来に向けての「～たい」であったが、総花的。どう重点を図るのか。そのためには、何が一番問題なのか、もう一つ、よく見えてこなかった。財源との絡みも重要
- ・ 行政の役割を果たしているかを確認する指標が少ないように思う
- ・ 市民の声を聴く具体的な方法は？
- ・ まちづくり会議についての検討はされましたか？
- ・ 商店街が出てきませんがどうなっていますか？
- ・ ひと口に市民全員参加というが、全員参加に向けての具体策が重要になる
- ・ 地域社会を構築することは大切なことと思う。これからどういう手法を使って実現できるか皆で考えたい
- ・ 町内、地域の活性化は「挨拶から」に大賛成！
- ・ 挨拶は家庭から始めたいと思う
- ・ 町内・地域の活性化は挨拶から、に共感。簡単なことがとても重要
- ・ 町内、地域の活性化は挨拶から始まる
- ・ まずは現在の自分に何ができるか
- ・ 「協働のまちづくり」は全市民が参画した広い活動を進めると良い
- ・ まちづくりはすべて協働なくしてはできないことに共感
- ・ 「公共」への関心を高めることは、協働を実現するための第一歩だと共感
- ・ 市民の役割として、積極的な対話を求めることを実践に移すための努力が必要
- ・ 「協働」の推進は、地域社会の実情に合わせて実施することが大切
- ・ 協働の推進をエスコートする意味でよくできている
- ・ 協働は全ての分野で必要とされるもので、共通認識です
- ・ 協働の担当課、頑張ってもらってる。感謝。が、NPOに偏重していないか。地域への

支援も必要な時代が来ているように感じます

- ・ 協働と人権を知ること、理解することが大切であると共感する
- ・ 市民同士の協働に共感
- ・ 市民活動団体等の連携や交流
- ・ 無関心層をどう松戸に関心を持っていかせるかが課題
- ・ 市政協力委員や、防犯協会の活性化
- ・ 行政と学校だけでなく、地元の企業にも参加してもらい、産学官連携して輪を広げる
- ・ 連携を大切にしている点に大変共感しました
- ・ ボランティア窓口をわかりやすく一本化
- ・ 情報の早めの開示を共有。市民にとって最低限必要なことだと思います
- ・ 市民・各種団体が行政と協働できる、必要な情報の開示が不足していると思う
- ・ 協働の推進にあたり、行政の役割の中で、財政的支援の役割も考えることが必要だと思います
- ・ 自分のできることから始める地域活動に多くの市民が参加できると、すばらしい社会が実現する
- ・ 行政組織間の、縦、横の連携が図れると、より有機的活動ができますね
- ・ 市民の役割として、相手の存在を認める、積極的に対話する、は人としての成長の第一歩として共感します
- ・ 主役を交代させることも大事。市民の潜在力を引き出す方法、方向をもう少し明らかにして欲しい
- ・ 市民の役割として、自分のできるところから、市全体を見るようにするのはとても重要だと思う。一人一人の市民が、実践できる場が多くあると良いと思う
- ・ 健全な財政運営をすること（実践する）
- ・ 市財政力を高めること
- ・ 今出来ることから始める
- ・ 「他人事にしない」と「積極的に対話を求める」が気に入りました
- ・ 全てに関連
- ・ 協働のあるべき姿ってあるかしら？
- ・ 自らの努力と積極性に着眼していることが素晴らしい
- ・ ふるさと松戸自慢には共感できる。長時間にわたる討論でよくまとまったと思います。以後も討論したことを実現できるようにと思います
- ・ 市民同士、ボランティア同士の協働が実現できることを望んでいます。大いに共感しますが、現実はなかなか遠いかなと思うことがあります
- ・ 地域の課題に協働で取り組む
- ・ 新しいステージが見えない。旧来の活動の方法・組織の延長では活性化しない
- ・ 地域拠点をいかに形成していくかが大切だと思います

- ・ 自分のできることから主体的に勇気をもって行動する、市役所は市民の役に立つ所、市民活動サポートセンター窓口設置、という点に賛成
- ・ 指標案の具体的数値目標
- ・ 自分も相手も含めて、人を好きになる
- ・ 市民ニーズ及び財源確保配分はすべての提言に関連し、その実現を左右する最も重要な問題だと思う

以上